

教科目名 国語総合 (General Japanese)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必履修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 相本正吾

授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年次に引き続いて、現代文(評論文・随想・小説・近現代詩・短歌・俳句川柳)及び古文・漢文を読み,その内容に関する文章作成や意見交換を行う。日本語表現力の向上に向けて「表現編」として,作文や,発表・討議も行う。 ・ 漢字練習帳の分やプリントのぶんを試験範囲とした「漢字・語句の小テスト」を二～三週間ごとに行う。 ・ 年二回, 授業で文学作品や文章の創作を行う「創作大会」を実施する。 			
達成目標と評価方法			大分高専目標(C1)
(1) 現代文(評論文・随筆・小説・近現代詩・短歌・俳句・川柳)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎を身につける。(定期考査, 提出課題) (2) 古文・漢文・漢詩の読解の基礎力を身につける。(定期考査, 小テスト) (3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける。(課題ノート, 提出課題, 発表) (4) 常用漢字・慣用語・四字熟語・文芸用語・評論文用語の力をつける。(定期考査, 「漢字・語句の小テスト」「小テスト」)			
回	授業項目	内 容	理解度の自己点検
1	現代文(1)	随想(1)の読解。 ※, 冒頭でガイダンスを行う。	【理解の度合い】
2	現代文(2)	小説(1)の読解。 近現代日本の主な作家(3)。	
3	現代文(3)	” ” 文芸用語(3)。	
4	表現(1)	表現の実践(5) — スピーチをしよう。	
5	現代文(4)	詩の読解・鑑賞(1)。 近現代日本の主な詩人(2)。	
6	現代文(5)	評論文(1)の読解。 評論文用語(3)。	
7	表現(2)	表現の実践(6) — 手紙を書こう。	
8	前期中間試験		【考査の点数】 点
9	中間試験の解答と解説 現代文(6)	詩の読解・鑑賞(2)と, 問いを設けての作文作成を行う。	【理解の度合い】
10	古文(1)	随筆を読む。 古文を読む基礎事項(3)、文法事項(2)。	
11	古文(2)	歌物語・説話を読む。 日本古典文学史(3)。	
12	表現(3)	創作大会(第一回)を行う。	
13	漢文(1)	故事を読む(2)。 漢文を読む基礎事項(3)。	
14	漢文(2)	漢詩を読む(3)。漢詩の基礎事項(2)。	
15	前期期末試験		
	期末試験の解答と解説		
16	現代文(7)	随想(2)の読解。	【理解の度合い】
17	現代文(8)	小説(2)の読解。 文芸用語(4)。	
18	現代文(9)	” ”	
19	表現(4)	表現の実践(7) — 敬語の応用、手紙文(2)。	
20	現代文(10)	評論文(2)の読解。 評論文用語(4)。	
21	現代文(11)	詩の読解・鑑賞(3)。	
22	表現(5)	表現の実践(8) — プレゼンテーション。	
23	後期中間試験		【考査の点数】 点
24	中間試験の解答と解説 現代文(12)	短歌・俳句川柳の読解・鑑賞(2)。近現代日本の歌人・俳人(2)	【理解の度合い】
25	古文(3)	紀行文・日記を読む。 古文を読む基礎事項(4)。	
26	古文(4)	軍記物語を読む。 日本古典文学史(4)。	
27	表現(6)	創作大会(第二回)を行う。	
28	漢文(3)	史話を読む(2)。 漢文を読む基礎事項(4)。	
29	漢文(4)	漢詩を読む(4)。『論語』を読む(2)。	
30	後期期末試験		
	期末試験の解答と解説		
履修上の注意		各文章の内容に関連する文章や作品をプリントでも読んでいき,それらのプリントも考査の範囲に入れることもあるので,保管しておくこと。	【総合到達度】
教科書		『発見国語総合』(桐原書店), 課題ノート『演習ノート』(〃) 『パーフェクト 常用漢字』(第一学習社) ※以上, 前年度に使用した分の継続。	
参考図書		『新総合図説国語』(東京書籍。 ※前年度に使用した分の継続。)	
関連科目		国語総合(1年), 現代文(3年)	
総合評価		総合評価 = 4 回の考査の平均点 × 0.7 + 小テストや提出課題の成績 (30 点満点)。総合評価が 60 点以上を合格とする。	
			【総合評価】 点